創造・参加・実践

JR西労組ひろしま

No.359
2018年8月1日

西日本旅客鉄道労働組合
広島地方本部
発行責任者　松原　伸芳
編集責任者　守田健太郎
広島市東区上大須賀町16－1
新幹線西高架下　3F
ＪＲ　(081) 2473
NTT　(261) 6614

第三十回定期中央本部大会開催

責任組合の役割を自覚し、安全を基礎に持続的発展に向けた展望を切り拓こう！

ＪＲ西労組中央本部は、七月十一日（水）～十三日（金）、「新大阪ワシントンホテルプラザ」において、第三十回定期中央本部大会を開催しました。大会では、執行部から一年間の経過報告や、運動方針、予算案が提起され、議長団には、来春の統一地方選挙において広島県議会議員（東区選挙区）に公認立候補が決定した柿本広島地本副委員長が選出されました。全体質疑での討論では宮川書記長をはじめ、多くの代議員から発言があり活発な議論が繰り広げられました。最後に、ＪＲ西労組運動をこれからも力強く進めていくことの決意を固め、荻山中央委員長の団結ガンバローで閉会しました。

荻山中央本部執行委員長あいさつ（要旨）

①職場からの安全の確立について

四月一日より「安全考動計画二〇二二」がスタートしました。全ての組合員が、「安全提言」の活用、「安全衛生委員会」の充実、分会活動の強化などを通じて、新計画の着実な理解と実践を進め、労働組合の強みを活かしたチェック・提言機能を各級機関で発揮していくよう要請します。

②労働力不足への対応と「働き方改革」の推進について

職場の意見、実態を把握し「駅の業務執行体制のあり方」の議論を深め、駅の契約社員制度の縮小、廃止の道筋をつけることと、「同一労働同一賃金」の議論を進め、シニア・シニアリーダー社員の処遇改善とモチベーション向上を図ることに、労使で解決の方向を見出したいと考えます。

※議長退任と県政への挑戦について決意表明する柿本副委員長

③次代に向けた求心力のある組織と運動づくりについて

昨年の大会で、私はＪＲ西労組運動への女性の主体的参画を進める「改革元年」との決意を訴えました。女性役員の割合は上昇しました。本年度は、ベテランと中堅、若手がともに運動に参画して継承を進める環境づくりを強化していきます。

④政策活動と地域活性化に向けた運動の展開について

地方路線活性化の先進事例として成功に導くために取り組んでいきます。また、ＪＲ西労組が社会的役割を自覚し、企画提案運動を進めていきます。

⑤政治参加の積極的な推進について

私たちの意見を政治に反映させるには、代弁者を議会に送り、勢力を拡大させることが必要です。そのためにも政治団体「交通政策をすすめる会」の加入促進も併せて要請します。

・契約社員のあり方について

契約社員が社員になるために具体的にどういったことをより取り組めば良いのかを、細分化して明示して下さい。また契約社員の正社員化をお願いし、併せて、契約社員制度撤廃をお願いします。

第30回中央本部定期大会において、大阪北部地震・西日本豪雨災害に伴う全組合員カンパ決定！

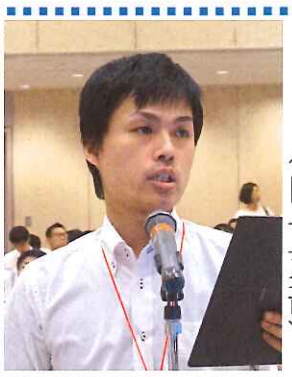
○組合員一人、1,000円以上

被害に遭われた多くの組合員と家族の皆様に、心よりお見舞いを申し上げます。

がんばろう西日本・広島！

広島地本七名の代議員が小委員会で発言！

○内田　貴紀（山一支部）



○槌野　政美（山一支部）

①育休明けの女性社員の働き方について

ワークライフバランスとしてあるべき姿で勤務しているか、今一度労働環境の精査をお願いします。

②乗務員の携帯する備品や制度の管理について

瑞風の制服クリーニング代、再度支給のお願いをします。また乗務員の携帯電話収納ポーチですが、大きさ等見直してください。

○長岡　由樹（病院支部）

①助産師・産科問題について

当院では今月より分娩が休止となり、助産師が分娩業務に携わることができない状況となってしまいました。一刻も早い産科の再開を望みます。早期の黒

字経営を目指すための収入の確保に大きく影響を与える問題と言えます。

②要員問題について

看護師が不足しており、離職率も高いので、要員を確保するために病棟も離職問題に取り組んでいますので、是非とも力を貸してください。また、医師においても麻酔科医の確保をお願いします。

③号俸表の見直しについて

四十歳代で基本給が頭打ちになる号俸表の見直しをモチベーション保持のためにもお願いします。

○森岡　靖直（山二支部）

・賃金制度の見直しについて

同一労働同一賃金に伴う賃金制度の見直しは、今後のＪＲ西日本の発展に大きく影響する問題だと認識しています。条件面を含め、会社とどう交渉していく予定なのか、教えて下さい。

・小集団・発表について

多くの職場で一部の人だけの取り組みになっており、中身の無い自己満足な活動はいらないと思っております。もう一度精査するようお願いします。

○筒井　純一（広二支部）

・安否確認システムについて

安否確認システムの対象を社員本人だけでなく、社員の家族も対象とするＪＲ西日本独自の災害用伝言板アプリを開発してください。家族あっての仕事だと思います。

・第三者加害について

この事象が発生した場合、手続きや着手金として多額の金額がかかることで泣き寝入りするケースが考えられます。支援をお願いします。

○松村　正朗（広一支部）

・西日本豪雨について

実家が被害に遭われたり、床下浸水の被害に遭われた方でもカンパ金が支給の対象となるよう、対象者を拡大して欲しいです。よろしくお願いします。

・ユニオンカレッジについて

開催時期や、日数を受講しやすい形に改めて欲しいです。子供の始業式に重なる時期に開催するのは止めてください。

○宮川　昌弘（広島地本）

・民主化闘争について

東日本の三万三千人の脱退者の組織化に向けて「革マル」批判だけでは組織化できないと考えます。ＪＲ連合の民主化闘争情報に「賃金の概念」についてマルクス経済学だからダメといった偏った記載があるが本部の見解をお伺いします。

・「連合二〇一八平和ヒロシマ集会」について

「国鉄原爆死没者慰霊式」に始めて全地本から参加します。西労組として平和について考える取り組みに感謝します。

広島地本を代表し宮川書記長が発言！

広島地本を代表して宮川書記長が四点について発言を行いました。

①安全の確立について

これまでハード・ソフト両面で安全対策を行ってきましたが、本年も協力会社の作業員が触車するという労働災害が発生しました。他にも死亡労災に繋がる事象も発生しています。どちらの事象も守るべきルールを逸脱しており、グループ会社・協力会社の資質とＪＲ本体がこうした常態を把握していないことが問題です。今一度、ＪＲ西日本が監督責任者としての自覚を持つことが重要です。

②組織について

東日本の脱退粗銅について、現行のイーストユニオンの勢力で脱退者の吸収は非現実的と考えます。革マル派が影響力を行使しうる立場にない中で、個人の思想信条は自由であり、革マル派の活動家も含まれることも承知の上で、ＪＲ西労組としてＪＲ連合への総結集を支援することが必要と考えます。

③業務課題について

緊急な課題である要員の問題をどう解決するか、「駅における業務執行体制の見直し」について、契約社員確保は年々厳しくなり、契約社員担務の社員運用が常態化しています。また、契約社員の契約途中での退職も増加傾向にあります。現行の労務管理にも問題があり、契約社員担務の全廃を基本とし、まずは、契約社員担務を一担務でも正社員化にすること。さらには、「正社員試験は新卒と同じ入社試験であるとの観点から、筆記・面接・医適・運適・通教は営業と安全概論の二科目。現場長評価は加点しない」などの明確な基準を作ることが必要です。

④政治について

来年は、第十九回統一地方選挙・参議院選挙が行われる重要な年となります。第十九回統一地方選挙で広島地本においては、下関市議の坂本哲也氏が山口県議会議員に立候補します。さらには、今大会で議長団席に座っております「柿本忠則」地本副委員長が、広島県議会議員選挙に立候補する決意を固めてくれました。広島地本全員が、組織強化と連動した取り組みを展開し、全員当選に向け全力で闘う決意と「交通政策をすすめる会」の加入促進を図ることを申し上げます。本部をはじめ、各地本・本社総支部の皆様の熱いご支援をお願いします。

平成30年7月豪雨
災害救援ローン（無担保・有担保）
生活応援バンク ろうきん
〈ろうきん〉は自然災害等で被災された方の早期の生活安定と災害復旧を支援します。〈わしくは〈ろうきん〉にお問い合わせください。

第29回JR西労組広島地本定期大会

8.25(土)開会10時(受付9時30分~)

ワークピア広島